

FOERSTER 社、校正試験所として重要な DAkkS 認定を取得

国際品質規格 ISO 17025 に準拠し、最高の精度と信頼性を確認

ロイトリンゲン、2024 年 11 月 21 日 - Institut Dr. Foerster GmbH & Co. KG は、同社の校正試験所に対する DAkkS 認定の付与を正式に発表します。この認定により、FOERSTER 社は、同社の試験所が ISO 17025 規格に準拠し、この規格の全要件に一貫して準拠していることを証明しました。ドイツの認定機関(DAkkS)は、複数回の監査でこれをチェックし確認しました。これにより FOERSTER は、渦電流探傷装置を用いた非破壊検査の分野で、この重要な認定を受けた唯一のソリューション・システム・プロバイダーとなりました。

「DAkkS の認定を受けたことで、私たちはお客様に長年にわたって最高品質の校正を保証することができ、競合他社との差別化を明確に打ち出すことができます」と、FOERSTER の校正ラボラトリー責任者であるハンス・ペーター・フォルマー博士は説明しています。

この認定により、FOERSTER は、EA（欧州認定協力機構）や ILAC（国際試験所認定協力機構）による相互承認を含め、国際的に認められている認定のために定義された測定変数および測定範囲について、DAkkS 校正証明書を発行することができます。これには、例えば、クラック標準の深さや幅の測定、コイルシステムの直流抵抗、交流抵抗、インダクタンス、その他の電気技術的特性の測定などが含まれます。これらの校正は、航空・自動車産業、医療技術、石油・ガス産業、プロセス産業、発電など、最高品質が要求される産業にとって特に重要です。

FOERSTER、市場での地位を強化

今回の認定により、FOERSTER は国際的に認められた校正証明書を発行できるようになっただけでなく、高精度測定ソリューションのリーディング・プロバイダーとしてのイメージも強化された。「この認定は、当社の校正活動の一貫した高い品質を証明し、市場における当社の地位を強化するものです。」とフォルマー博士は言う。「この認定は、セーフティ・クリティカルな産業における当社の新たな可能性を開くものでもあります」。

継続的な品質チェック

認定を維持するため、FOERSTER 校正試験所は DAkkS の定期検査を受けています。さらに、従業員は継続的にトレーニングを受け、内部監査により ISO 17025 の厳格な要求事項への準拠が保証されています。さらに、他の認定校正試験所との定期的な比較測定などの対策が、継続的な品質保証に貢献しています。

校正範囲の拡大を計画中

同社は、測定変数を追加することにより、認定校正範囲をさらに拡大する計画である。対応するプロジェクトはすでに実施されている。

Institut Dr. Foerster GmbH & Co. KG について

Institut Dr. Foerster GmbH & Co KG は、1948 年にフリードリヒ・フォースター教授によって設立された。今日、この中規模企業は、金属材料の非破壊検査、部品の材料特性の決定、金属の検出のための製品を開発、製造、販売しています。

システム・インテグレーターおよびパートナーとして、フォースターは顧客と密接に協力し、個々の製品から完全な検査ラインまで、幅広いソリューションを開発・実施しています。要求の厳しい動作条件は、機器に極端な要求を突きつけます。技術リーダーとして、FOERSTER グループの製品は世界的に高い基準を設定しています。顧客は、金属製造・金属加工会社、自動車供給産業、航空宇宙産業、その他多くの分野に及んでいます。輸出シェアは約 80%で、Foerster GmbH & Co. KG は強力な国際ネットワークを持っています。650 人以上の従業員を擁する FOERSTER グループは、全大陸で隠れたチャンピオンとして活動しています。そのグローバルなプレゼンスは、17 の子会社と 60 を超える代理店によって保証されています。現在 3 代目となる家族経営企業の本社は、ドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州のロイトリンゲンにある。